

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築						
市町村名	小布施町		ふりがな 箇所名	(一)村山小布施(停)線			おしほ 押羽	事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～		H25年度				
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	交差点改良工 L=280m W=9.0(13.0)m (うち橋梁20m)						H22年度末事業進捗率	0%						
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0%						
	H23年度実施内容	用地測量、用地補償 1式						用地補償費ベース	0%						
	事業費計(千円)	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残					
	100,000	0		0		43,000		100,000							
財源内訳	国庫支出金														
	その他														
	県債	90,000		0		0		38,700		90,000					
	一般財源	10,000		0		0		4,300		10,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等				評価				部		政策評価課			
										ランク	評点	ランク	評点		
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上		1,500台以上～4,000台/日未満		1,500台未満		B	4	B	4			
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある								0	0	
		ネットワーク (道路網)	バス路線である		駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線		A及びBに該当しない						3	3	
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない								4	4	
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない				2					2		
		各事業特有の必要性(安全の確保)		4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)		4.0m以上5.5m未満(幅員)		5.5m以上(幅員)					0	0	
				歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し					2	2	
		他事業との関連		河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施									0	0	
	小計										15	15			
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ確実性が高い		環境配慮がされているが確実性が低い		環境配慮をしていない		B	3	B	3			
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)		緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)		特別な位置づけはない						3	3	
		小計											6	6	
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上		B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		A	8	A	8			
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内		事業年数 4年～5年以内		事業年数 6年以上						7	7	
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない。						20	20	
		小計											20	20	
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	6	A	6			
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)		医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に係らない道路						10	10	
		小計											16	16	
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い		市町村からの要望		特に要望がない		A	6	A	6			
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知		特に周知していない						6	6	
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加		住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない						4	4	
		小計											16	16	
費用対効果(B/C)		5.1		評価の合計				B	73	B	73				
事業周知環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は中野市、山ノ内町と長野市とを結ぶ小布施町の外郭幹線道路であり交通量も多い。また、信州中野ICはもとより、平成18年10月の小布施スマートIC開通以降、特に大型車交通量の伸びが顕著である。さらに、当該箇所には右折車線が無く、鋭角交差であることから、大型車の反対車線へのみ出しが見られ、交差点における事故等が多発している状況である。													
	地域からの要望経緯	平成20年2月 地元自治会長及び小布施町北部土木振興会より交差点改良の陳情書が提出される。各年度春・秋2回開催されている小布施町との調整会議時にも、早期改良が要望されている。													
	事業説明等の経緯	平成20年度...町、地元自治会及び北部土木振興会に説明。 平成21年度...地権者に説明の上、道路詳細設計及び橋梁予備設計を実施。(県単交通安全対策(一種)事業にて) 平成22年度...橋梁詳細設計を実施。(県単交通安全対策(一種)事業にて)													
	環境・景観への配慮項目	現地の改変を極力避ける形で計画策定する予定である。													
	他事業・プロジェクトとの関連	小布施町から、町中心部からの外郭道路への交通量の振り分けの要望が高く、現在、官民協働の「小布施町みちづくり協議会」により、交通体系に関する議論を行っている。													
	特記事項	道路詳細設計の際、県公安委員会との交差点協議を行っており、信号設置を前提に設計がなされている。													
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他						
部意見	(国)403号からの交通量分散による受入により、小布施町中心部の渋滞解消、歩行者の安全確保による観光・地域産業の活性化に寄与するため、H23年度から事業化をしたい。					政策評価課 意見		緊急性が認められる。							